

児童朝会 校長の話 2月10日

寒い日が続いていますね。

「霜」これはなんと読むでしょう？

「しも」正解です。「霜」というのは、空気中の、水蒸気という目に見えない水分が物にくっついて氷の結晶として積もった物です。朝早く、屋根やフェンス、葉の上

などが白く見えるのは霜ですね。先週の金曜日、校門にいたら下校する2年生が「校長先生、雪が降りましたか？」と土の中から白い氷のような物を持ってきて見せてくれました。それは霜柱だと思います。土の中の水分が柱のように凍った物です。

「雪」これはなんと読むでしょう？

「ゆき」正解です。気温が0℃以下になると雲の中の水蒸気が集まって粒になり、その氷の結晶が集まって降ってきたものです。雪の天気記号はこれです。

「霙」これはなんと読むでしょう？

「みぞれ」すごいですね。読めた人がいます。これは雨と雪が混ざって降ってきたものです。地上は0℃以上で地上1500mが-3℃から-6℃位の時に降ってきます。霙の天気記号はこれです。上半分が雪で下半分が雨の記号です。

「霰」これはなんと読むでしょう？

「あられ」これも読めた人がいますね。雨が凍ったり雪の一部が溶けてまた凍ったりして氷の粒が降ってきたものです。天気記号はこれです。

「雹」これはなんと読むでしょう？

「ひょう」これも読めた人がいますね。これは寒い時ではなくて、夏によく降ってきますね。雷が鳴って雷雨が降ってきたときに急に雨が凍って、直径が5mmから5cmの氷の粒が降ってくる場合があります。それが雹です。天気記号はこれです。霰と似ていますね。

今日は雨冠の漢字を5つ紹介しました。天候に関係する漢字でしたね。この他にも雨冠の漢字は30個近くあります。調べてみると面白いですね。

